



日曜参観、講演会への参加ありがとうございました!

・ どうして子どもの歯とおとなの歯があるのですか?
・ 歯と歯の間にもものがはさまった時はそのままにしていてもいいですか? また、つまようじを使ってもいいですか?

・ 歯医者さんの道具はどうして音が出るのですか?
学校医の品田先生が子どもの質問に答える形でお話を進め、写真もたくさん見せてくれたので、とてもわかりやすいお話でした。健康の基は丈夫な歯から。そのため大切な歯みがきの方法もていねいに教えてくださいました。
児童の感想

- ・ はみがきをつづけます。はみがきをもっともっとやります。むしばがこわかったです。
- ・ 歯のことやみがき方をこまかいところもはなしてくれたので、今日からそのみがき方でいねいにしようと思いました。
- ・ むし歯があるので5分以上みがきたいと思いました。



この話を受け、保健の城戸先生が全学年で、「歯みがき課外授業」を行いました。これは、ライオンが社会貢献活動として、歯ブラシ、はみがきこ、デンタルフロスのセットをプレゼントしてくれる取り組みを活用して行いました。学校で今週中、給食の後歯みがきをし、17日(金)に持って帰りますので、ぜひ、今後も子ども



たちのよりよい歯みがきの習慣化にご協力よろしくお願いいたします。そして、子どもたちの口の中からむしばがなくなることを心から願っています。

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果より

国語に関して、漢字の読み・書きでは、全国平均とほぼ同等の力をもっていることがわかり、漢字道場などの学校でのこれまでの取り組みの成果が表れていると考えられます。また、ことわざや俳句についての知識は、全国平均と同等以上の力をもっていることがわかりました。普段の授業からことわざや慣用句などにふれる機会をもつことで、今後も定着を図っていきたく思います。しかし、手紙の書き方の知識に苦しさがあることがわかりました。メールやSNSなどのアプリの発達で、児童が手紙を書くという機会が減少していることも理由だと考えられます。また、いくつかの条件を満たして記述する問題において特に正答率が低くなっていますが、無解答は少なく、あきらめずに何かを書くという意欲はうかがえました。

算数に関して、計算領域においては、正答率が概ね大阪府および全国平均を上回る結果でした。しかし、図形領域において苦しさが見られました。低学年の頃から、授業での具体物の操作や視覚資料の活用を意識し、子どもたちが頭の中でイメージしやすいような授業づくりを行っていきたく思います。また、「最小公倍数」や「表の整理」など、その学習をしているときは頻繁に出てきて理解できているものの、しばらくすると忘れてしまうことの多い学習内容で正答率の低さが見られました。朝学習や宿題などで、既習事項の復習(当該学年以外の学習内容も)を行っていくことで、定着を図っていきたく思います。算数Bの問題では、記述で解答するタイプの問題において苦しさは見られたものの、大阪府・全国平均より正答率が高い問題もありました。少人数指導でのきめ細かな指導や子どもどうしが教

え合うという学習システムなど、子どもの実態によりそった学習形態も、今回の結果につながったと考えられます。

学習状況調査から「学校で、友達に会うのは楽しいと思いますか」「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことはありますか」という質問に対して、肯定的な回答が多く見られました。これは、だれかと共に過ごすこと、協力しながら乗り越えていくことを学校で経験し、その経験が子どもたちのなかで良いものとして残っていると考えられます。「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」という質問にも、肯定的な回答が多いことから、友達や先生など、周りの人と良い関わりをもちながら、内面を成長させているのだと感じます。そのことが、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という質問に対する肯定的な回答が100%という結果にも表れています。

また、国語や算数の勉強が大切であり、将来、社会に出たときに役に立つと考えている子どもが多く、学習に対して前向きな姿勢がうかがえます。そして、「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてください」という質問では、肯定的な回答が100%でした。これは、わからないところがあってもそのままにせず先生に聞いて教えてもらい、わかろうとする姿勢の表れだと考えられます。

これからも、苦手なことやわからないことに対して、周りの人と支え合いながらあきらめずに取り組むという指導を、学校全体で進めていきたく思います。今後も、ご家庭でのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。